

# Point 2 アートをさらに深掘り、もっと面白く。



Teshima Art Museum Photo: Ken'ichi Suzuki

- 本ツアー参加者のためだけに、北川フラム氏(瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)が特別レクチャーを行います。
- 「瀬戸内国際芸術祭」参加アーティスト、EAT&ART TAROによるワークショップを開催。



<https://eat-art.info/>

瀬戸内国際芸術祭2019「瀬戸内ガストロノミー」 EAT&ART TARO

**北川フラム** アートディレクター・アートフロントギャラリー主宰  
<https://www.artfront.co.jp/jp/>

1946年、新潟県高田市(現上越市)生まれ。東京芸術大学卒業。主なプロデュースとして、ガウディブームの下地をつくった「アントニオ・ガウディ展」、全国80校で開催された「子どものための版画展」、全国194カ所で38万人が訪れた「アパルトヘイト否!国際美術展」、米軍基地跡地を文化の街に変えた「フェー立川アートプロジェクト」(1994)など。アートによる地域づくりの実践として「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2000～)、「瀬戸内国際芸術祭」(2010～)などで総合ディレクターを務める。主な受賞に17年度朝日賞、18年度文化功労者。19年イーハトーブ賞などがある。



PHOTO: Mao Yamamoto

### 旅のヒント★「瀬戸内国際芸術祭」

香川・岡山の両県にまたがる瀬戸内海の島々と沿岸地域を舞台に、3年に一度開催される現代美術の国際芸術祭。2010年にスタートし、毎回国内外から約100万人が来場。今では日本を代表するアートイベントとなっています。次回開催は2025年の予定です。